

平成26年度主要港督励巡視結果報告（船内）

報告者：督励巡視団員（船内班）野澤 昌之

1. 東京港（H26.7.29）

- ◎ 青海コンテナ埠頭4号 コンテナ船 本船名：EVER DIAEM コンテナ荷役
- ◎ 青海コンテナ埠頭3号 コンテナ船 本船名：OOCL LEHVRE コンテナ荷役

良かった点

- ・ガントリー下作業者は、指差呼称あり。特に合図がはっきり行われていた。(EVER DIAEM)
- ・ラッシュャーについては、安全帯、ライフジャケットがきちんと装着されていた。(両船とも)
- ・KY ボード等、細かく記入されていた。(両船とも)
- ・立ち入り禁止、頭上注意の垂れ幕で、注意喚起がなされていた。(両船とも)

指摘事項及び改善事項

- ・ガントリー下作業者、指差呼称出来ていなかったようだが？(OOCL LEHVRE)

回答

- ・ガントリーマンからも分かりやすいように、両手でOサイン（OKサイン）で指差呼称としております。

質問事項

- ・ガントリーの電源コードの溝で、ケガをした事はないですか？

回答

- ・作業中に、ケガの報告はありません。
- ・通常作業者は、溝の近くは歩きません。

2. 清水港（H26.7.30）

- ◎ 富士見埠頭5号 本船名：インカ・クイーン 穀物揚げ荷役
- ◎ 日之出埠頭4号 本船名：サガ・オデッセイ パルプ揚げ荷役

良かった点

- ・船内作業主任者の表示が写真入りで、細かく表示されていた。(両船とも)
- ・酸欠の測定表示が明確にされていた。(両船とも)
- ・艙内ブル運転者、後方指差確認が出来ていた。(インカ・クイーン)
- ・艙内の荷の隙間にカラーコーンが置いてあり安全の「見える化」が出来ていた。(サガ・オデッセイ)
- ・熱中症対策の中で、応急キット等も用意されていた。(両船とも)

指摘事項及び改善事項

- ・上屋フォークリフトのスピードが速いのではないか？（サガ・オデッセイ）

回答

- ・指導不足です。朝のミーティング等で今後しっかり指導します。

質問事項

- ・ジブクレーンの使用期限の表示が過ぎていたがどうですか？
- ・沿岸に止めてあったブルのキーが座席の下に放置されていたが、キーの管理はどうしているのか？

回答

- ・使用期限の表示が更新されておらず、県に確認したところ、H27年2月までとなっております。
- ・完全に使用していない時は、キーの保管場所は決めています。上屋に仮置きの場合は、キーを無くす等のないように、社内で、座席の下におくように決めています。その際の管理体制は、外部者が立ち入らないようにしております。

3. 大阪港（H26.7.31）

- ◎ 咲洲南港 L-7 在来船 本船名：プリンス・ヘンリー 舢よりコイル積み荷役
- ◎ 夢洲コンテナターミナル見学

良かった点

- ・熱中症対策として、温度計の設置、作業員に近い位置に水分を準備し、通気性の良い服装で良好でした。
- ・ピンクリボン、トラロープ等で足元の危険なところの安全の「見える化」が出来ていた。
- ・ジャコップ、エスケープラダー（セーフティーブロック）を使用し、転落防止が出来ていた。
- ・デッキ合図マン、艀内、舢内の玉掛け責任者との連携よし（声掛けが良くされていた）
- ・艀内玉外し前に、コイルに歯止めがされていた。
- ・舢内の退避状況よし、デッキ合図マンもそれを確認してから巻き上げていた。（指差呼称あり）

指摘事項及び改善事項

- ・艀内での玉外しのタイミングが早かったように思う。コイルが着床し、歯止めをしたが、クレーンがまだ動いているときに手を出していた。

回答

- ・指導不足です。今後は確実に巻き下げが止まってから手を出すように、指導します。

質問事項

- ・中甲板に転落防止措置がされていませんでしたが、どのようなルールがありますか？
- ・KY ボードの内容を具体的に明記されたほうが良いと思うが、大阪総支部はレベルアップに関して、どのような指導をしていますか？
- ・本船から設備に関する点検表をもらっていますか？

回答

- ・中甲板の荷役がないのでしていませんが、次回から荷役がない場合でもするようにします。
- ・パトロールなどで指導しますが、KYボードの良いところを紹介したり、具体的に明記できるようにしていきます。(研修などでも指導します。)
- ・元請会社と相談の上、点検表をもらうようにします。

4. 門司港 (H26.8.1)

- ◎ 太刀浦第一コンテナターミナル8号岸壁 コンテナ船 本船名：WELLINGTON STRAIL
コンテナ荷役
- ◎ 太刀浦管理棟（展望室）にて見学、説明

良かった点

- ・デッキマン、安全帯、ライフジャケット着装し、安全帯を確実に使用していた。
- ・合図、指差、笛、無線を併用し、明確に行われていた。
- ・熱中症対策、飲料水と救急箱を設置していた。
- ・ストラドルキャリア …… ターミナル内制限速度（20 km）を守り、走行していた。
- ・ガントリー下合図マン …… ガントリー走行時、進行方向を確認していた。
- ・ガントリー下作業員 …… 退避を大きく取り、安全確保していた。

指摘事項及び改善事項

- ・デッキ上通路に、ターンバックル、ラッシングバーが散乱し、転倒災害の危険がある。
- ・検数員がガントリーの走行レール上で、待機しており、危険だった。(HEUNGA 船)

回答

- ・4Sの徹底を指導し、足元の安全確保をする。
- ・検数業務に気をとられ、注視を怠っていたので、当該店社に注意、指導します。

質問事項

- ・KY ボード対策は、とてもしっかりと書かれていたが、危険なポイントは漠然と書かれていた。今後の教育・指導方法は、どのように考えているか？

回答

- ・マンネリ化を防ぐということから、KY方法の情報展開をしていく。